

水圧調節により節電・節水・静音を実現!



①ノズルの拡散角度を変えない本体の圧力調節スイッチ。最低圧力にすると最高圧力時に比べて消費電力量と水の使用量は約40%、作動音は約10%減(リョービ測定値)②折りたたみ可能なハンドル③長い電源コードもスッキリ収納。

高水圧で汚れを一気に落とす!!



(注)ボディの洗浄は水圧を弱めてから、タイヤはノズル先端から最低30cm以上離して使用しよう!

雨どいなど離れた場所の洗浄は別売りのアンダーボディースプレーランス(価格4725円)を使用すれば簡単に洗浄できる。
3段階に長さを調節できる延長パイプ(価格6300円)を組み合わせれば手の届きにくい高所の洗浄に効果を発揮!

雨どいなど離れた場所の洗浄は別売りのアンダーボディースプレーランス(価格4725円)を使用すれば簡単に洗浄できる。

これは便利!



④水道以外に雨水タンクの溜め水を簡単操作で短時間に吸い上げて利用できる自吸機能付き。⑤自吸は、呼び水なしで水を吸い上げることができる「エア抜きバルブ」方式。

リョービ高圧洗浄機
AJP-1700VGG

給水方式 / 水道 / 自吸(雨水タンクの溜め水など※)
※ 砂や泥、ゴミを含んだ汚れた水は使用不可。

• 71 ©リョービ販売 052-806-5111 <http://www.ryobi-group.co.jp/r-sales/>



「monoマガジン」2011年12月2日号掲載

日本はモノが溢れすぎているから壊れたり汚れたら買い換えればいいという発想が浸透している。でも、壊れたら修理すればいいし、汚れたら洗えばいい。実に単純明快だ。でコレ、どうせ洗うならブラシでゴシゴシなんてのは昔の話。今はこの高圧洗浄機が常識! もちろん、お金さえ出せばプロの専門業者に依頼出来るし楽チンなのだ。が、どうせなら自分で洗いたくなるのがオトコの性。今回紹介するリョービの家庭用高圧洗浄機ならビギナーからプロまで誰でも簡単に操作出来るのがポイント。

水道などから吸水した水に高い圧力を掛けて噴射し、こびりついた頑固な汚れもアツと言う間に洗い落とす。家やビルの外壁、玄関アプローチ、自転車やオートバイ、農機具など、さまざまな洗浄に威力を発揮してくれる。しかも、通常のホースによる洗浄と比べて使う水の量は少なく済む。これならはじめて高圧洗浄機に挑戦するお父さんでも大丈夫。使いやすさと洗浄力をとことん追求しているの、誰がやってもビックリするくらい短時間でキレイになる。一度やりはじめたら病みつきになること間違いナシ!

でも、洗浄の際に水が跳ねたり、動作音がうるさかったりして近隣から苦情が来るかも。そんな心配も無用。本体の圧力調節スイッチでモーターの回転数を変更し、噴射する水の圧力を調整することが出来るから、最低圧力にすれば動作音も静かで早朝の作業でも音が気にならないし、高所の洗浄においても水跳ねが抑えられる。また雨水タンクの溜め水も利用できる自吸に必要なアクセサリが一式付属しているという、まさにいたれりつくせりの高圧洗浄機が誕生した!

モノ・マガジン編集部が建物を洗浄してみました。
中野プロジェクト 決行!



モノ・マガジンをつくっている弊社ビルの外壁やエントランスなど普段は気にしないが、やはりよく見ると相当汚れている。特に雨水が流れる外壁部分など黒ずんでいるのが肉眼でもわかる。果たして落ちるのだろうか?



ほんの数10分洗浄しただけ雨水が流れる外壁部分やエントランス、特に外壁下部の汚れが落ちた。面白すぎて建物全体を洗浄したくなってきたと弊社営業のTくん。毎日の日課として外壁洗浄をやりましょうか(笑)

使いやすさを追求したリョービの高圧洗浄機で
建物もクルマもまるごとキレイに洗おう!

写真/油料康司(WPP)
文/モノ・マガジン編集部